# マニュアルの使い方

☞ 目次は次ページ

本書の主な内容を説明します。

## パソコンを使用するときの初期作業
「本書の巻頭」～「2章 2 初めて電源を入れるとき」

**安全上のご注意を読む**

↓

**準備する**
- 各部の名称を確認する
- パソコンを設置する
- 電源コード、マウスを接続する
- バッテリを充電する

↓

**電源を入れる**
☞「2章 1 電源を入れる」

↓

**Windowsを使えるようにする（セットアップ）**
☞「2章 2 初めて電源を入れるとき」
Windowsのセットアップが終了後、Windowsの使い方については、同梱されている『Windows Meクイックスタートガイド』をご覧ください。

## 必要なときにお読みください

**インターネットに接続する**
☞「5章 3 インターネットに接続する」

**電子メールを使う**
☞「5章 4 電子メールを使う」

**便利な機能を使う**
- 音楽CDを再生したい
- CD-RW／CD-Rに書き込みしたい*1
- DVDを見たい*2
- タッチパッドを便利に使いたい
- 消費電力を節約したい

☞「6章 便利な機能」

（*1）CD-RWモデルをご購入のお客様が対象です。
（*2）DVD-ROMモデルをご購入のお客様が対象です。

**パソコンを拡張する**
- 周辺機器を接続する

☞「4章 ハードウェアについて」
☞『周辺機器に付属の説明書』

---

**困ったときやパソコンが正常に動作しないとき**
☞「9章 困ったときは」、「8章 システムの復旧」

# 目次

1 章
2 章
3 章
4 章
5 章
6 章
7 章
8 章

1章 2章 3章 4章 5章 6章 7章 8章

# はじめに

このたびは、DynaBook（DB60C/DB55C）をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本製品は高性能・コンパクトを特長とするパーソナルコンピュータです。
本書は本製品の基本的な取り扱い方をできるだけ簡単に、正しく理解できるように作られています。お読みになった後も、いつでも取り出せる場所に保管しておいてください。

## 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

省電力設定に関しては、「5 章 便利な機能 7 消費電力を節約する」を参照してください。

## 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人　日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータ業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

## 瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人　日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## レーザー製品の取り扱いについて

・本製品は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、説明書をよくお読みください。また、お読みいただいた後も必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店、または東芝 PC 集中修理センタに依頼してください。
・本説明書に記載された以外の調整・改造を行うと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
・レーザー光に直接被爆しないため、絶対に製品を分解しないでください。

クラス1レーザー製品

お願い
・本装置の仕様は国内向けになっております。海外ではご使用にならないでください。

## モデム使用時の注意事項

本製品の内蔵モデムをご使用になる場合は、次の注意事項をお守りください。

内蔵モデムは、財団法人 電気通信端末機器審査協会により電気通信事業法第 50 条 1 項に基づき、技術基準適合認定を受けたものです。

認定番号
A00-0595JP

### ●使用できない地域

内蔵モデムは、日本国内に使用が限定されます。海外での許認可は受けていないため、海外ではご使用になれません。ご注意ください。
内蔵モデムに接続する回線が NTT 回線以外の場合や PBX 等を経由する場合は使用できない場合があります。また、デジタル対応公衆電話のデジタル側では使用できません。
上記の注意事項を超えてのご使用における危害や損害などについては、当社では責任を負えませんのであらかじめご了承願います。

### ●自動再発信の制限

内蔵モデムは最初の発信から 3 分以内に 2 回を超える再発信（リダイヤル）を行なった場合には、発信を行いません。
再発信ができなくなったときには、3 分待ってから再発信してください。

＊内蔵モデムの自動再発信機能は、電気通信事業法の技術基準（アナログ電話端末）「自動再発信機能は 2 回以内（但し、最初の発信から 3 分以内）」に従っています。

お願い
・雷雲が近づいてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラージャックから抜いてください。電話回線に落雷した場合、内蔵モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。

## i.LINK（IEEE1394）機器のご使用について

i.LINK（IEEE1394）機器を使用する場合、次の注意事項を必ず守ってお取り扱いください。

- i.LINK 対応機器を使用しデータ転送を行う場合、必ずデータ（データファイルや、ビデオカメラで撮影したテープ）のバックアップをお取りください。特に動画データ転送時は、パソコンの処理に負荷がかかり、状態によってはコマ落ちが発生する場合があります。また、その際のデータ内容の保証はできません。あらかじめご了承ください。
- 静電気が発生しやすい場所や電気的ノイズが大きい場所での使用時にはご注意ください。外来ノイズの影響により、転送データが一部欠落する場合があります。万一、パソコンの故障、静電気や電気的ノイズの影響により、再生データや記録データの変化、消失が起きた場合、その際のデータ内容の保証はできません。あらかじめご了承ください。
- ビデオカメラから取り込んだ画像データ、音声データは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- デジタルビデオカメラ等を使用し、i.LINK 対応データ通信を行なっている最中に他の i.LINK 対応機器の取り付け／取りはずしを行うと、データがコマ落ちする場合があります。
  i.LINK 対応機器の取り付け／取りはずしは、データ通信を行なっていないときまたはパソコン本体の電源を入れる前に行なってください。

## 著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作権者及び著作者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的でのみ行なうことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと "著作権侵害 "" 著作者人格権侵害 " として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切な使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

## Image Select License

Notice: POWERQUEST CORPORATION LICENSES THE ENCLOSED SOFTWARE TO YOU ONLY UPON THE CONDITION THAT YOU ACCEPT ALL OF THE TERMS CONTAINED IN THIS LICENSE AGREEMENT. PLEASE READ THE TERMS CAREFULLY BEFORE OPENING THIS PACKAGE, AS OPENING THE PACKAGE WILL INDICATE YOUR ASSENT TO THEM. IF YOU DO NOT AGREE TO THESE TERMS, THEN POWERQUEST IS UNWILLING TO LICENSE THE SOFTWARE TO YOU, IN WHICH EVENT YOU SHOULD RETURN THE FULL PRODUCT WITH PROOF OF PURCHASE TO TOSHIBA FROM WHOM IT WAS ACQUIRED WITHIN SIXTY DAYS OF PURCHASE.

LICENSE AND WARRANTY:

The software which accompanies this license (the " Software") is the property of PowerQuest Corporation or its licensors and is protected by copyright law. While PowerQuest Corporation continues to own the Software, you will have certain rights to use the Software after your acceptance of this license. Ownership of the Software and all copies, modifications, and merged portions thereof shall at all times remain with PowerQuest or its licensors. Except as may be modified by a license addendum which accompanies this license, your rights and obligations with respect to the use of this Software are as follows:

● You may:

(i.) use Image Select to apply a hard drive image onto that number of hard drives equal to the number of Image Select licenses granted by PowerQuest under this license

(ii.) reuse an Image Select license for a specific hard drive to reapply additional images onto the same hard drive as long as you are doing so in the capacity of the end user of the hard drive and not as a reseller of systems containing that hard drive and

(iii.) include an image file created by Image Select for disaster recovery purposes with any such hard drive transferred to you by a third party.

● You may not:

(i.) reuse a license for Image Select after successfully using that license to create an image file onto a hard drive;

(ii.) copy the documentation which accompanies the Software;

(iii.) sublicense,assign, transfer, rent or lease any portion of the Software, or

(iv.) reverse engineer, decompile, disassemble, modify, translate, make any attempt to discover the source code of the Software, or create derivative works from the Software.

● NO WARRANTY. The Software is being provided to you AS IS. PowerQuest does not warrant the Software to end users. If the Software fails to perform substantially in accordance with the documentation provided to Toshiba, PowerQuest will repair or replace the copy of the Software provided to Toshiba and will authorize Toshiba to provide such repaired or replaced Software to you without charge.

● Disclaimer of Damages:
REGARDLESS OF WHETHER ANY REMEDY SET FORTH HEREIN FAILS OF ITS ESSENTIAL PURPOSE, IN NO EVENT WILL POWERQUEST CORPORATION OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER ARISING OUT OF OR RELATED TO THE USE OR INABILITY TO USE THE SOFTWARE, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, CONSEQUENTIAL, INCLUDING ANY LOST PROFITS, BUSINESS INTERRUPTION, LOST DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE SOFTWARE, OR OTHER PECUNIARY LOSS, EVEN IF POWERQUEST CORPORATION HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES, WHETHER SUCH LIABILITY IS BASED ON CONTRACT, TORT, WARRANTY, OR ANY OTHER LEGAL OR EQUITABLE GROUNDS.

SOME STATES DO NOT ALLOW THE LIMITATION OR EXCLUSION OF LIABILITY FOR INCEDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES SO THE ABOVE LIMITATION OR EXCLUSION MAY NOT APPLY TO YOU.

IN NO CASE SHALL POWERQUEST CORPORATION LIABILITY EXCEED THE PURCHASE PRICE FOR THE SOFTWARE. The disclaimers and limitations set forth above will apply regardless of whether you accept the Software.

● NO WAIVER. Any failure by either party to this agreement to enforce a specific part of the agreement in a specific situation is not a waiver of rights under the agreement. The party may still enforce the rest of the agreement in that situation and may still enforce some or all of the agreement in other situations.

● U.S. Government Restricted Rights:
RESTRICTED RIGHTS LEGEND. Use, duplication, or disclosure by the Government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c) (1) (ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 525.227-7013 or subparagraphs (c) (1) and (2) of the Commercial Computer Software-Restricted Rights clause at 48 CFR 52.227-19, as applicable, PowerQuest Corporation, 1359 North Research Way, Bldg K, Orem, UT 84097.

● U.S. Government Restricted Rights:
RESTRICTED RIGHTS LEGEND. Use, duplication, or disclosure by the Government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c) (1) (ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.227-7013 or subparagraphs (c) (1) and (2) of the Commercial Computer Software-Restricted Rights clause at 48 CFR 52.227-19, as applicable, Symantec Corporation, 10201 Torre Avenue, Cupertino, CA 95014.

● General:
This agreement constitutes the entire agreement between you and PowerQuest pertaining to its subject matter. This agreement will be governed by the laws of the State of Utah. This Agreement may only be modified by a license addendum which accompanies this license of by a written document which has been signed by both you and PowerQuest Corporation. Should you have any questions concerning this Agreement, or if you desire to contact PowerQuest Corporation for any reason, please write: PowerQuest Corporation Customer Service Department, 1359 North Research Way, Bldg K, Orem, UT 84097.

## Trademarks

・Microsoft、MS-DOS、Windows、Outlook、Bookshelf は、米国 Microsoft 社の米国およびその他の国における登録商標です。
・インテル 、Celeron は、Intel Corporation の登録商標または商標です。
・Adobe、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
・Fast Ethernet、Ethernet は富士ゼロックス社の商標または登録商標です。
・PS/2 は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
・AT、EGA、XGA は、IBM Corporation の商標または登録商標です。
・ATI Mobility-C は ATI Technologies 社の商標です。
・K56flex は、Lucent Technologies と Rockwell Semiconductor Systems の登録商標です。
・i.LINK と i.LINK ロゴは商標です。
・VirusScan は米国法人 Network Associates Inc またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
・アメリカ・オンラインおよび AOL は AOL の登録商標です。
・「OCN」は NTT コミュニケーションズ株式会社の商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

## お願い

・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
・記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスクなど）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。
・購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
・パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。
パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、お使いの機種を確認後、東芝 PC 集中修理センタにご依頼ください。
パスワードの解除を東芝 PC 集中修理センタにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

本書の内容について万一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、東芝 PC ダイヤルまでご一報ください。

お使いになる前に本体同梱のお客様登録カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。
保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

# 本書の読み方

## 記号の意味

**警 告**　**・誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があることを示します。**

**注 意**　**・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性があることを示します。**

お願い　・データの消失や、故障や性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。

メモ　・知っておくと便利なことを説明しています。

☞　この取扱説明書や他の説明書への参照先を示しています。

「この取扱説明書の参照先」

『他の説明書への参照先』

（注）補足説明をしています。

## 画面の表し方

**画面の全部、または一部を表します。**

**【例】**

**Total　=　××××KB**

このように画面上または本文中の文字を X で表している場合は、実際にはさまざまな数字や記号が入ります。

## 入力するキーの表現

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを□で囲んで書いています。

Y キーを押す　→　[Y ん]　を押してください。

1 キーを押す　→　[! 1 ぬ]　を押してください。

Space キーを押す　→　[　　]　（スペースキー）を押してください。

## 操作の表し方

操作や作業は、次のように示します。

【例】

●操作が１つで済む場合は、次のように示します。

**Y キーを押す**

●キーを「＋」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

**Fn ＋ F2 キーを押す**

この場合は、Fn キーを押したまま F2 キーを押します。

## 用語について

本書では、次のように定義します。

システム……特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム（OS）を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト……アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows Me……Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版を示します。

MS-IME……Microsoft® IME2000 を示します。

CD-RW モデル……CD-RW 装置が内蔵されているモデル（DB60C/4RA）を示します。

DVD-ROM モデル……DVD-ROM 装置が内蔵されているモデル（DB55C/4DA）を示します。

CD-ROM モデル……CD-ROM 装置が内蔵されているモデル（DB55C/4CA）を示します。

# 日常の取り扱い

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。

## パソコン本体

**注 意**
- **お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードをAC 電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。**
- **機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。**
  **製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。**
- **水や中性洗剤は、絶対に本製品に直接かけないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。**
- **シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんなどは使わないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。**

●機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。
ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。

●ディスプレイは静かに閉じてください。

●使用できる環境は次のとおりです。
温度 5 ～ 35℃、湿度 10 ～ 90%

●次のような場所で使用や保管をしないでください。
直射日光の当たる場所
非常に高温または低温になる場所
急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）
強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）
ホコリの多い場所
振動の激しい場所
薬品の充満している場所
薬品に触れる場所

●使用中に本体の底面や AC アダプタが熱くなることがあります。本体の動作状況により発熱しているだけで、故障ではありません。

## フロッピーディスク（FD）

フロッピーディスクは消耗品です。傷がついた場合は交換してください。
フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。

●フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。
フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

●シャッター部を開けて磁性面を触らないでください。
磁性面（ディスク面）が傷ついたり、汚れると使用できなくなります。

●スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。
記録した内容が消えるおそれがあります。

●直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。
●本やノートなど重いものを上に置かないでください。
●使用場所、保管場所の温度は次のとおりです。

| 環　境 | 使用時 | 保管時 |
|---|---|---|
| 温　度 | ５～３５℃ | ４～５３℃ |

●ラベルは正しい位置に貼ってください。
貼り替えるときに重ね貼りをしないでください。
●ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。
●保管の際は、プラスチックケースに入れてください。
●食べ物、タバコ、消しゴムのカスなどの近くにフロッピーディスクを置かないでください。
● 3.5 型フロッピーディスクは当社の次の製品をお使いください。
他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかったり、フロッピーディスク装置の寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。

| 製品番号 | 形式 |
|---|---|
| M4293 | ２HD形式 |
| M4216 | ２DD形式 |

## フロッピーディスク装置

市販のクリーニング用品を使ってフロッピーディスク装置をクリーニングします。1ヶ月に 1 回を目安にクリーニングしてください。

## コンパクトディスク（CD）／ DVD

CD ／ DVD の内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。
● CD ／ DVD を折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CD ／ DVD を読み書きできなくなることがあります（CD への書き込みは、CD-RW モデルのみ可能です）。
● CD ／ DVD を直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CD ／ DVD の上に重いものを置かないでください。
● CD ／ DVD は専用のケースに入れ、清潔に保護してください。
● CD ／ DVD を持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。
表面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。
● CD ／ DVD のデータ面に文字などを書かないでください。
● CD ／ DVD が汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。
円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。もし乾燥した布で拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。
ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。

## CD-ROM 装置／ CD-RW 装置／ DVD-ROM 装置

ディスクトレイを引き出したままにしないでください。
市販のクリーニング用品を使って CD-ROM 装置／ CD-RW 装置／ DVD-ROM 装置をクリーニングします。1ヶ月に 1 回を目安にクリーニングしてください。

## 電源コード

電源コードのプラグを長期間に渡って AC コンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にほこりを拭き取ってください。

## キーボード

乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水か中性洗剤を布に含ませ、堅くしぼったきれいな布で拭きます。
キーのすきまにゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または東芝 PC 集中修理センタにご相談ください。
コーヒーなど飲み物をこぼしたときは交換を依頼してください（有償）。

## 液晶ディスプレイ

### 画面の手入れ

●画面の表面には偏向フィルムが貼られています。このフィルムはキズつきやすいので、むやみに触れないでください。
表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で拭き取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。
●無理な力の加わる扱い方、使い方をしないでください。
液晶表示素子は、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。そのため、圧力がかかると配向が乱れ、元に戻らなくなる場合があります。

### サイドライト用 FL 管について

ディスプレイに装着されているサイドライト用 FL 管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、お使いの機種をご確認後、東芝 PC 集中修理センタにご相談ください。有償にて交換いたします。

### 表示について

カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に表示不良画素（欠け、常時点灯など）が存在することがあります。これらの表示不良画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端の技術でも表示不良画素をなくすことは困難ですので、ご了承ください。

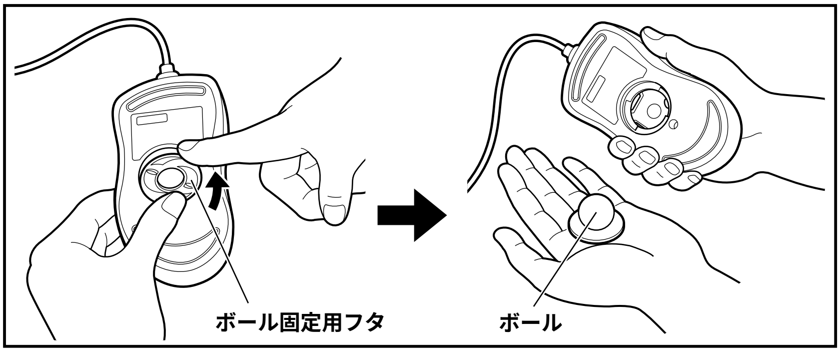
## マウス

マウスを長時間使用していると、ホコリなどがボールに付着し正常なマウスの動作を妨げ、動作不良の原因となることがあります。

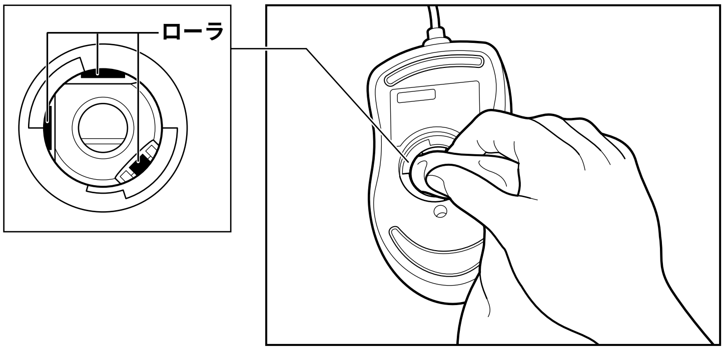
マウスのお手入れは、次の手順で行なってください。

①パソコン本体の電源を切ってください。

②マウス本体の裏面にあるボール固定用のフタを、矢印方向に回転させてはずし、ボールを取り出します（ネジは、絶対にはずさないでください）。



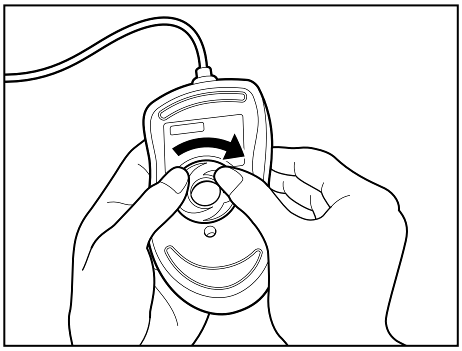

③マウス内部のローラなどに付着した異物は、乾いた布で取り除いてください。




④ボールを、水で洗います（中性洗剤を使用する場合はよくすすぎます）。

⑤乾いた布でボールの水分を拭き取り、十分乾燥させてからマウス本体に取り付けます。

⑥ボール固定用のフタを、矢印方向と反対方向に回転させて取り付けます。フタは、カチッと音がするまで回転させてください。






・ボール固定用のフタ以外は、絶対に分解しないでください。

## サウンド

サウンドに関する設定は、Windows および音量ボタンで行います。
音量の調整は、音量ボタンまたはタスクバーのスピーカアイコン で行います。
スピーカアイコン をクリックまたは、ダブルクリックすると、ボリュームコントロールが表示されます。
音量を大きくすると、スピーカ音が割れる場合があります。

## モデム

内蔵モデムは、ITU-T V.90 および K56flex に準拠しています。通信先のプロバイダが V.90 または K56flex 以外の場合は、最大 33.6Kbps で接続されます。

## 持ち運ぶとき

持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを守ってください。

●電源は必ず切ってください。
　電源を切った後も、CD/ハードディスクマーク 表示中は動かさないでください。

●急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。
　やむなく急な温度変化を与えてしまった場合は、数時間たってから電源を入れるようにしてください。

●外付けの装置やケーブルは取りはずしてください。また、フロッピーディスクや CD がセットされている場合は、取り出してください。

●落としたり、強いショックを与えないでください。また、日の当たる自動車内に置かないでください。
　故障の原因になります。

●持ち運びのときはディスプレイを閉じてください。

## 消耗品について

次の部品は消耗品です。

●バッテリパック（充電式ニッケル水素電池）
　長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。
　充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリパックと交換してください。

## 廃棄について

本装置の廃棄については、地方自治体の条例、または規則に従ってください。

# 1

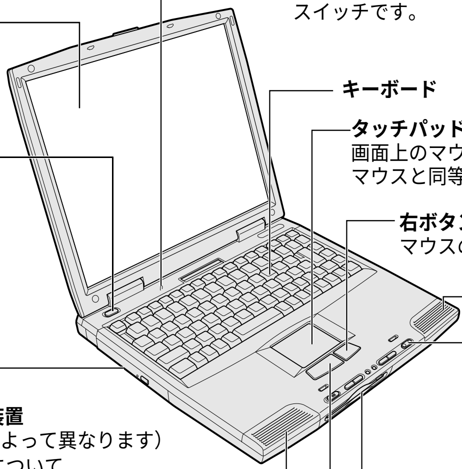
# 電源を入れる前に

本章では、パソコンの電源を入れる前に、必要な準備について説明します。

# 1 各部の名称

ここでは、各部の名称と機能を簡単に説明します。各部についての詳しい説明は、それぞれに関連する章で行います。

## 本体



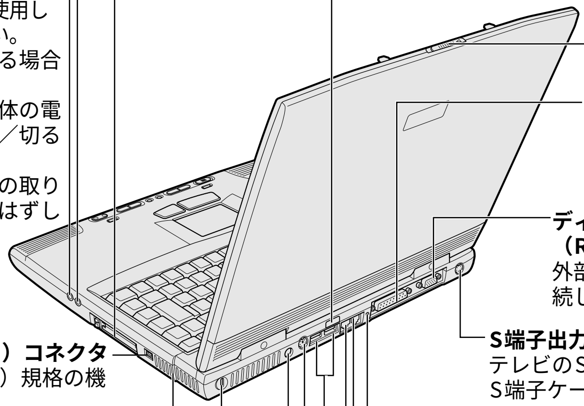
**マイク入力端子**
マイクロホンを接続します。マイクロホンのプラグはモノラルミニジャックタイプ(3.5 φ)を使用してください。
☞「4章 12-2 マイクロホン」

**ヘッドホン出力端子／光デジタル出力端子（CD-ROMモデル、CD-RWモデルのみ）**
ヘッドホンまたは光デジタル対応機器に接続します*。音源はステレオで出力されます。
ヘッドホンはステレオミニジャックタイプ(3.5 φ)を使用してください。

お願い
- 次のような場合にはヘッドホンを使用しないでください。雑音が発生する場合があります。
  - パソコン本体の電源を入れる／切るとき
  - ヘッドホンの取り付け／取りはずしをするとき

**PCカードスロット0（上段）**
**PCカードスロット1（下段）**
PC Card Standard TYPE II/III準拠のカードを取り付けることができます。
また、CardBus対応カードを取り付けることができます。
☞「4章 4 PCカード」

**赤外線ポート**
赤外線ポートを使って、IrDA方式の赤外線ポートを持つ他の機器と通信が行えます。
赤外線通信を行う機器は、同じ通信用アプリケーションを使用してください。



**ディスプレイ開閉ラッチ**

**PRTコネクタ（プリンタ）**
プリンタを接続して使用します。

**ディスプレイコネクタ（RGB）**
外部ディスプレイを接続して使用できます。

**S端子出力コネクタ**
テレビのS映像入力端子へS端子ケーブルで接続します。
☞「4章 9 テレビの接続」

**i.LINK（IEEE1394）コネクタ**
i.LINK（IEEE1394）規格の機器が接続できます。
☞「4章 10 i.LINK（IEEE1394）機器」

**通風口**

**セキュリティロックスロット**
盗難防止用チェーンなどを接続します。

お願い
- セキュリティロック用の機器については、本製品に対応のものを販売店にご確認ください。

**強制電源オフスイッチ**
強制的に電源を切ります。
ボールペンなど先の細いもので押してください。

⚠
- **通常電源を切るときには、ご使用にならないでください。ご使用になるとデータが消失するおそれがあります。このスイッチは電源スイッチを5秒以上押し続けても電源が切れない場合にのみご使用ください。**

**電源コネクタ**
付属のACアダプタを接続します。

**マウス／キーボードコネクタ**
PS/2対応のキーボードや同梱されているマウスを取り付けることができます。
接続するときは、パソコン本体の電源を必ず切ってください。
☞「1章 5 マウスの接続」

**モジュラージャック**
モジュラーケーブルで本体を電話回線に接続し、モデム機能を使用します。
☞「4章 6 電話回線の接続」

**LANコネクタ**
ネットワークケーブルを接続します。
☞「4章 7 LANの接続」

**USBコネクタ**
USB（Universal Serial Bus）規格の装置が取り付けられます。
☞「4章 8 USB機器の接続」

＊ヘッドホン出力端子／光デジタル出力端子に接続できる機器は次のとおりです。

| | CD-RWモデル | DVD-ROMモデル | CD-ROMモデル |
|---|---|---|---|
| ヘッドホン | ○ | ○ | ○ |
| 光デジタル対応機器 | ○ | X | ○ |

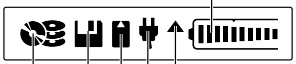
☞「4 章 12-3 ヘッドホン」、「4 章 12-4 光デジタル出力端子」

## 〈 状態表示パネル 〉



☞ 詳細 ⇨「本章 7 キーボード」

- A：大文字入力固定状態
- 1：画面スクロール入力固定状態
- ▦：数字入力固定状態
- ▲▼：カーソルキー入力固定状態



**バッテリ残量表示マーク**
バッテリの状態
☞「本章 3-3 バッテリに関する表示」

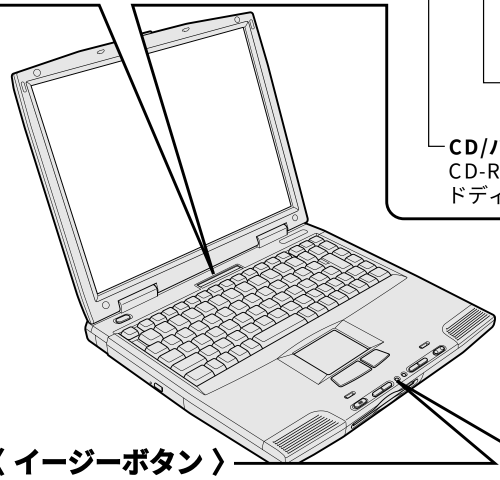
**バッテリマーク**
バッテリパックの状態
☞「本章 3-3 バッテリに関する表示」

**電源入力マーク**
電源コードの接続状態
☞「本章 2-4 電源に関する表示」

**PCカードマーク**
PCカードにアクセスしています。

**フロッピーディスクマーク**
フロッピーディスク装置にアクセスしています。

**CD/ハードディスクマーク**
CD-ROM装置／CD-RW装置／DVD-ROM装置またはハードディスク装置にアクセスしています。



## 〈 イージーボタン 〉

**機能切り替えスイッチ**
スイッチの位置によって、ボタンの機能が変わります。
**スイッチ左**：アプリケーションモード
**スイッチ右**：音楽CDモード
**スイッチ中央**：ボタンは使用できません（ロック状態）。

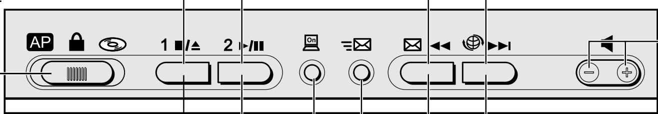
**アプリケーションモード**
**（機能切り替えスイッチ：左）**
☞ ボタンの詳細 ⇨「6章 2 イージーボタンを設定する」

**メールボタン**
☞「5章 4 電子メールを使う」

**ユーザ1ボタン**

**インターネットボタン**
☞「5章 3 インターネットに接続する」

**ユーザ2ボタン**




**音量ボタン**
⊕：音量を大きくします。
⊖：音量を小さくします。

**■/▲ボタン**

**▶/IIボタン**

**▶▶Iボタン**

**I◀◀ボタン**

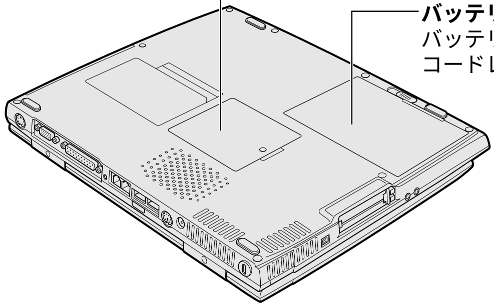
**メール着信ランプ**
☞「5章 4 電子メールを使う」

**電源表示ランプ**
電源の状態
☞「本章 2-4 電源に関する表示」

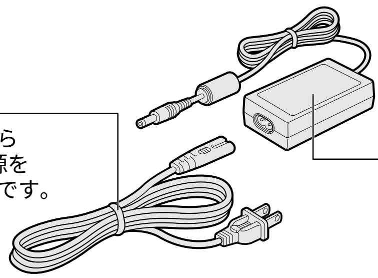
**音楽CDモード**
**（機能切り替えスイッチ：右）**
☞ ボタンの詳細 ⇨「6章 1 音楽CDを聴く」

**増設メモリスロット**
増設メモリが取り付けられます。
☞「4章 5 増設メモリ」

**バッテリパック**
バッテリパックを充電すると、コードレスで使用できます。

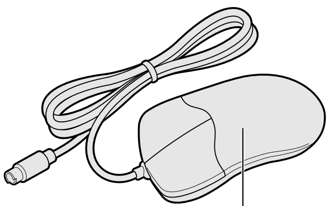


## 付属品

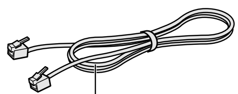


**電源コード**
電源コンセントからACアダプタに電源を供給するケーブルです。

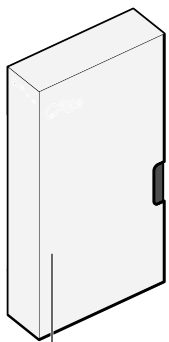
**ACアダプタ**
電源コネクタに接続し、パソコン本体に電源を供給します。



**PS/2マウス**
マウス／キーボードコネクタに接続して使用できます。
☞「1章 5 マウスの接続」



**モジュラーケーブル**
電話回線と内蔵モデムを接続するケーブルです。
☞「4章 6 電話回線の接続」



**すいすいセットアップビデオ**
パソコンの使い方をビデオで説明しています。
はじめにご覧ください。

# ② パソコンの準備

本製品を使用するとき、照明や机・椅子の高さ、画面の角度などの調節次第で快適に作業することができます。正しい使用環境でお使いいただければ、身体的疲労を軽減するとともに、本製品の寿命を少しでも長くすることができます。
ここでは、安全と健康を守り、本製品をより快適にお使いいただく環境について説明します。

## 1 パソコンを快適に使うには

本製品を設置、使用する際には、次のことを守ってください。

### 設置する環境

**警 告** **・水などの液体がかかったり、直射日光の当たる場所に置かないでください。**
**ショート、発煙のおそれがあります。**

**注 意** **・ぐらついた台の上やかたむいた所など、不安定な場所に置かないでください。**
**パソコンが落ちたり倒れたりしてケガをするおそれがあります。**

お願い
・ステレオスピーカなど、強い磁気を発するもののそばに置かないでください。
そのまま使用するとデータが消失するおそれがあります。

●温度は５～３５℃、湿度は２０～８０％の環境にする
●急速に温度や湿度が変化するような環境は避ける
●暖房器具などの熱いものの近くには置かない
●腐食性の薬品のそばに置かない

### 使用時の環境

●適当な高さと距離をおき、平らな場所に置く
眼精疲労を避けるために、ディスプレイが目の高さより低くなるように設置してください。
●パソコン本体に向かって正面に座り、マウスなどの周辺機器を操作するのに適当な場所を確保する
●ディスプレイの角度を調節しやすくするために、パソコン本体の背面をある程度空けておく
明るさと広い視界を得るために、ディスプレイの角度を調節してください。
●換気のために、パソコン本体の周囲に適当なスペースを確保する

## 使用時の姿勢

●キーボードが肘よりも少し下にくるように椅子の高さを調節する
●おしりよりも膝が少し高くなるように座る
●背筋が曲がらないように、椅子の背もたれを調節する
●膝と肘はほぼ９０度になるように、まっすぐ座る
　前に屈んだり、背もたれによりかかったりしないで使用してください。




## 照明

●日光や照明が画面に反射しないように設置する
　薄く着色された窓ガラスを使用したり、ブラインドやスクリーンで光を遮ってください。
●明るい照明や日光が直接眼に入るような場所にパソコン本体を置かない
●なるべく、柔らかい間接照明などを使用する
　書類や机を照らすためには、スタンドを使用し、その際スタンドの光が画面や眼に直接反射しない位置に置いてください。

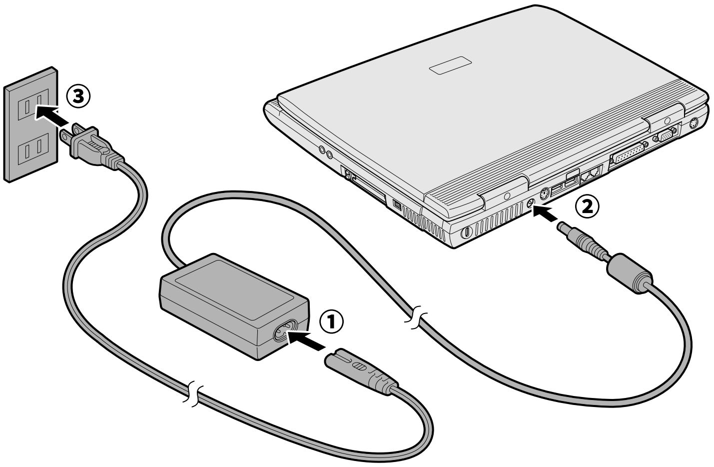
## 使用方法

●リラックスした姿勢で座る
　肩や首が疲れないように、背中を楽にするために、椅子やマウスなどを正しい位置に置いてください。
●適度に姿勢を変える
●時々立ち上がってストレッチする
　１日に何度も手首と首を動かしたりのばしたりしてください。
●長時間画面を見続けないようにする
　１５分ごとに３０秒ぐらいの割合で遠くを見てください。
●一度の休憩は短くても良いので、なるべく回数を多くとる
　３０分に２～３分とるのが理想的です。

## ❷ 電源に接続する

### 接続方法

パソコン本体に電源を供給するときは、バッテリパックを必ず取り付けておいてください。
AC アダプタ、電源コードの接続は次の図の①→②→③の順に行います。はずすときは逆の③→②→①の順で行います。




### 取り扱い方法

電源コード、AC アダプタの取り扱いについては次のことを守ってください。

**警 告**
- **付属の電源コードでは、AC100 V以外の電源コンセントには絶対に電源プラグを差し込まないでください。発煙、火災のおそれがあります。**
- **傷ついたり、破損したり、加工した電源コードや電源プラグは使わないでください。感電、火災、やけどのおそれがあります。**
- **必ず本体付属の AC アダプタを使用してください。本体付属以外の AC アダプタをご使用になりますと、発煙、火災のおそれがあります。**
- **電源コードを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたりしないでください。ショート、断線による火災や感電のおそれがあります。**

**注 意**
- **電源コードのプラグを電源コンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが破損し、火災や感電のおそれがあります。**
- **ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。**

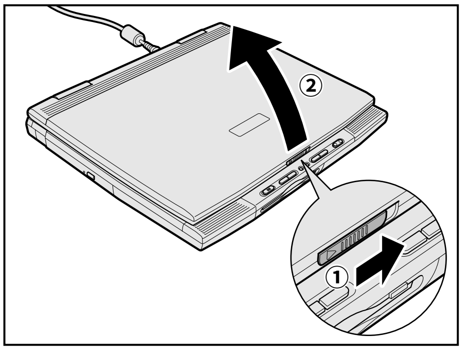
お願い
- AC アダプタをパソコン本体に接続しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

AC アダプタを接続していると、AC アダプタやバッテリが温かくなることがありますが故障ではありません。

# ❸ ディスプレイを開ける

**1 ディスプレイ開閉ラッチを右にスライドさせ①、ディスプレイを静かに起こす②**

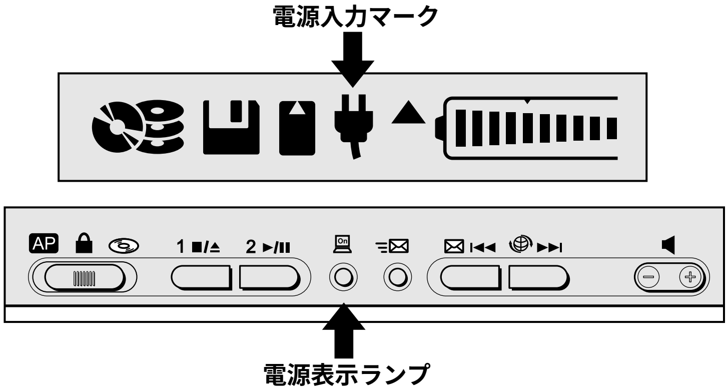
この時、両手を使ってゆっくり起こしてください。




**注 意** ・ディスプレイを閉じる場合は静かに閉じてください。
強く閉じると、衝撃(しょうげき)でハードディスク装置やディスプレイなどが故障するおそれがあります。
ハードディスクの磁性面にキズが付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いたキズの修理はできません。

# ❹ 電源に関する表示

次のマークとランプが、電源に関する表示です。




それぞれの意味は次のとおりです。

| | 状態 | パソコン本体の状態 |
|---|---|---|
| 電源入力マーク | 表示中 | ACアダプタを接続している |
| | 消灯 | ACアダプタを接続していない |
| 電源表示ランプ On | 点灯 | 電源ONまたは<br>音楽CDモード時（機能切り替えスイッチ：右） |
| | 点滅 | スタンバイ中 |
| | 消灯 | 電源OFF |

# 3 バッテリの充電



## 1 コードレスで使うために

パソコン本体には、バッテリパックが取り付けられています。
バッテリを充電して、コードレス（AC アダプタを接続しない状態）で使うことができます。
コードレスで使う場合は、AC アダプタを接続してバッテリの充電を完了（フル充電）させます。または、フル充電したバッテリパックを取り付けます。
充電を完了（フル充電）しなくてもコードレスで使えますが、使用できる時間は短くなります。

## 2 バッテリの充電

ここでは、充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。

### 充電方法

**1 パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源コードをコンセントにつなぐ**

バッテリマーク▲ が点滅すると、充電が開始されます。
パソコン本体に AC アダプタを接続すると、電源の ON/OFF に関わらず常時充電されます。

**2 バッテリマーク▲ が点滅しなくなるまで通電する**

バッテリを充電中はバッテリマーク▲ が点滅します。
電源入力マーク が消灯している場合は、電源が供給されていません。AC アダプタ、電源コードの接続を確認してください。
☞ バッテリに関する表示について ➪「本節 3 バッテリに関する表示」

### 充電時間

充電時間の目安は次のとおりです。

| 状態 | 充電時間 |
|---|---|
| 電源ON時 | 約3時間 |
| 電源OFF時 | 約2時間 |

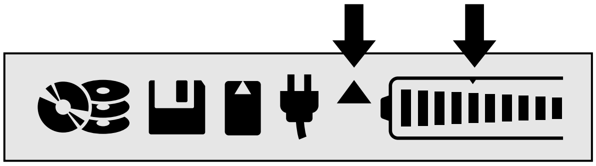
（注）周囲の温度が低いとき、周辺機器を取り付けている場合は、この時間よりも長くかかることがあります。

**⚠ 警 告**
- **バッテリパックの使用中、充電中、保管時に異臭・発熱・変色・変形など異常が発生した場合は、すぐにパソコン本体から取りはずしてください。**

**⚠ 注 意**
- **バッテリパックの充電温度範囲内（5 ～ 35℃）で充電してください。**
**充電温度範囲内で充電しないと、液もれや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。**
- **バッテリパックを水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。**
**発熱したり、サビなどのおそれがあります。**
- **バッテリパックをお買い上げ後、初めて使用する場合にサビ、異臭、発熱などの異常と思われるときは使用しないでください。**
**お買い求めの販売店または、東芝 PC 集中修理センタに点検を依頼してください。**

## ❸ バッテリに関する表示

次の図で矢印の付いているものが、バッテリの状態を示すマークです。



マークは次の状態を示します。

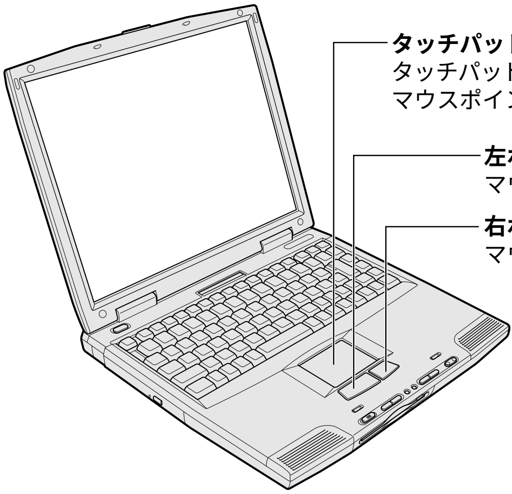
| 状態 | | バッテリの状態 |
|---|---|---|
| バッテリマーク ▲ | 点灯 | バッテリパックが取り付けられているとき（ACアダプタ接続時） |
| | 点滅 | バッテリパックを充電中 |
| バッテリ残量表示マーク | バッテリ残量<br>約60％（表示例） | ▌（1つ）はバッテリ残量約10%分を示します。 |
| | 点滅 | すぐに充電が必要 |

**注 意** **・バッテリ残量表示マークが点滅したら、すぐに AC アダプタを接続し、電源を供給してください。**

☞ バッテリの詳細について ➪「3 章 パソコンを持ち歩く」

# 4 タッチパッドと左／右ボタンの使い方

Windows 画面上に表示される（ ）を「マウスポインタ」といいます。タッチパッドや左ボタン／右ボタンを使って、マウスポインタを操作します。タッチパッドと左ボタン／右ボタンはマウスと同じ働きをします。



**タッチパッド**
タッチパッド上で指を動かすと、簡単に画面上のマウスポインタを動かすことができます。

**左ボタン**
マウスの左ボタンと同じ働きをします。

**右ボタン**
マウスの右ボタンと同じ働きをします。

## 基本操作

タッチパッド上に指を置き、指を上下左右に動かします。指の方向に合わせて画面上のマウスポインタが移動します。

お願い

・タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなどの鋭いものを使ったりしないでください。タッチパッドが壊れるおそれがあります。

| | |
|---|---|
| **クリック** | タッチパッドでマウスポインタを合わせて、左ボタンまたは右ボタンを1回押します。タッチパッドを指で軽く1回たたくと、左ボタンを1回押したときと同じ動作をします。 |
| **ダブルクリック** | タッチパッドでマウスポインタを合わせて、左ボタンをすばやく2回続けて押します。<br>タッチパッドを指で軽く2回たたいても同じ動作をします。 |
| **ドラッグアンドドロップ** | 左ボタンまたは右ボタンを押したまま、タッチパッドでマウスポインタを移動します（ドラッグ）。<br>ドラッグの操作の最後に、目的の場所でボタンから指を離します（ドロップ）。<br>タッチパッドを指で軽く2回たたき、2回目をたたいたときに指をタッチパッドから離さず、そのまま目的の位置まで移動して離しても同じ動作をします。 |
| **スクロール** | 画面内を上下や左右に動かすことをスクロールといいます。<br>スクロールを行うと、1画面に表示できず隠れてしまっている部分を見ることができます。<br>指をタッチパッドの右端にあわせ上下に動かすと垂直方向に、下端にあわせ左右に動かすと水平方向にスクロールします。 |

メモ

・ご購入時は、タッチパッドの基本機能のみ使用できます。
タッチパッドの様々な機能を使用する場合は、Windows セットアップ終了後、タッチパッドのユーティリティをインストールしてください。
☞「2 章 2-2 イージーボタンとタッチパッドを使うために」
・タッチパッドの設定を変更するときや、便利な機能を使ってみたいときは「6 章 5 タッチパッドを便利に使う」をご覧ください。

# ⑤ マウスの接続

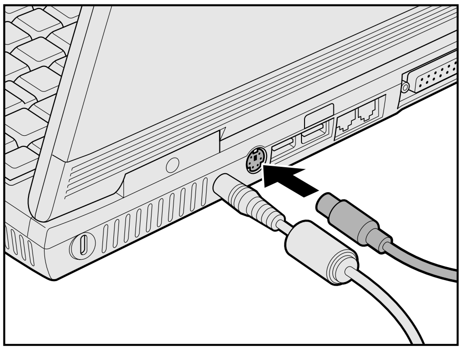
同梱されている PS/2 マウスはパソコン本体のマウス／キーボードコネクタに接続して使用します。

**注 意** ・**PS/2 マウスを接続する場合には、必ず電源を切ってから行なってください。電源を入れたまま接続すると、故障のおそれがあります。**

## 取り付け

**1 マウス／キーボードコネクタに、PS/2 マウスのプラグを差し込む**

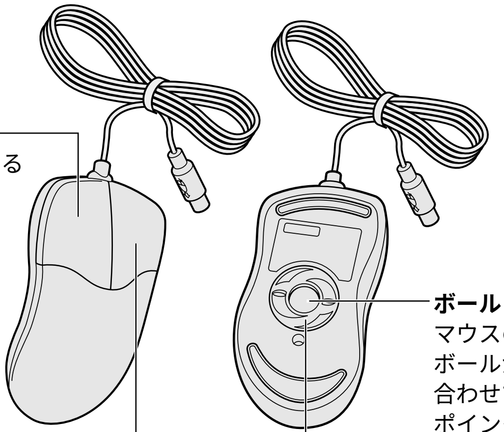
接続するときは、プラグに印刷されている矢印マークを上にしてしっかりと奥まで差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。



# 6 マウスの使い方

PS/2 マウスは、タッチパッドや左ボタン／右ボタンと同じ働きをします。

☞ PS/2 マウスの接続 ➪「本章 5 マウスの接続」



**左ボタン**
文字やアイコンを選択することができます（アプリケーションにより、機能が異なります）。

**右ボタン**
操作を取り消したり、文字やアイコンのコピーなどを行います（アプリケーションにより、機能が異なります）。

**ボール**
マウスの中に入っています。ボールが転がる方向に合わせて画面上のマウスポインタが移動します。

**ボール固定用フタ**
ボールがとび出さないように押さえているフタです。マウスのお手入れのときのみ、取りはずしてください。

## 動かし方

マウスを動かすと、内部のボールが転がる方向に合わせて、マウスポインタが画面上を移動します。画面上のマウスポインタを見ながらマウスを動かしてみてください。
マウスを動かす場所がなくなったときは、マウスを１度持ち上げて、動かしやすい場所に戻してください。なお、マウスを空中で動かしてもマウスポインタは移動しません。

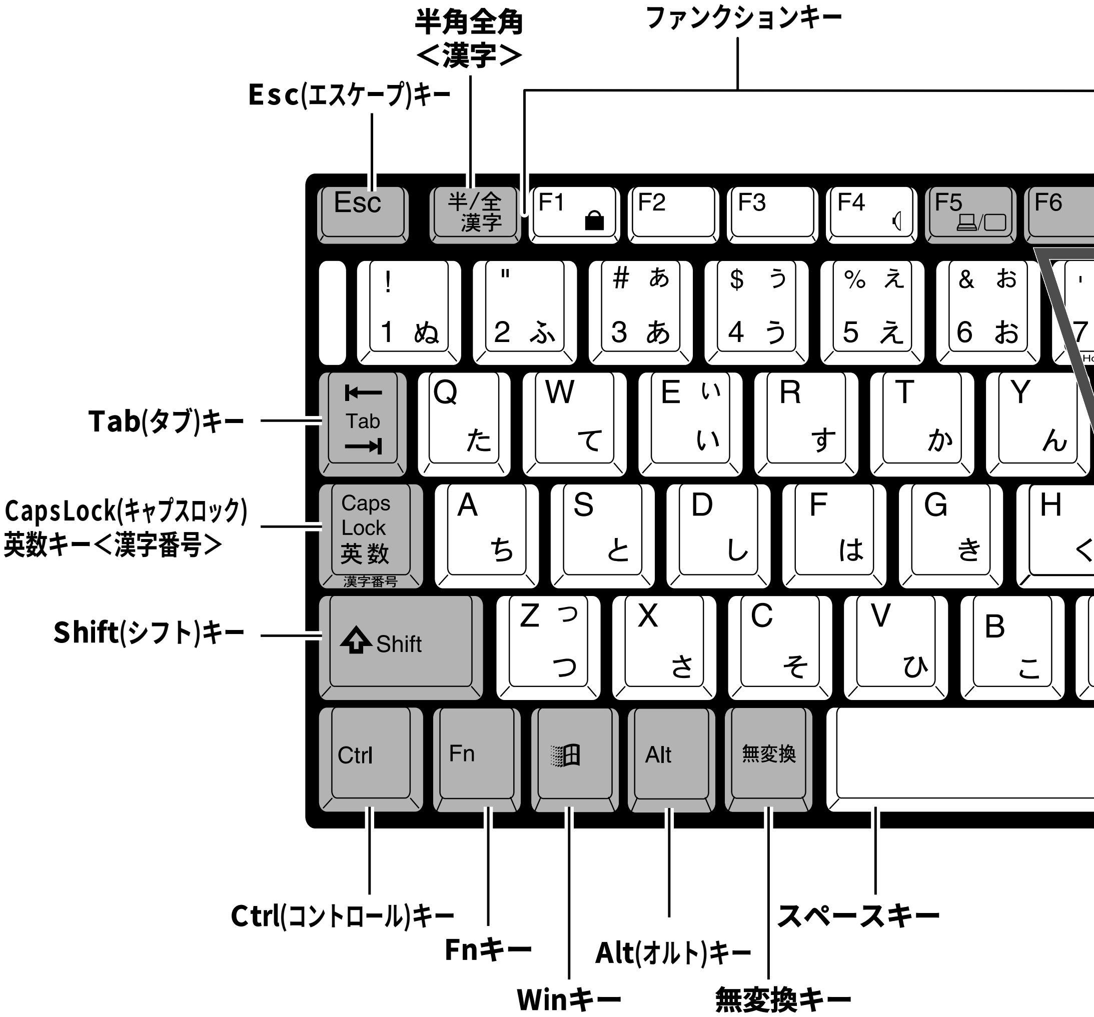
お願い
- マウスは平らな机の上などで使用してください。
  ボールが転がりにくい場所で使用すると、マウスポインタの動きが鈍くなる場合があります。
- マウスは手のひらで包むように持って、滑らせるように動かしてください。押さえつけて動かすと故障の原因になります。

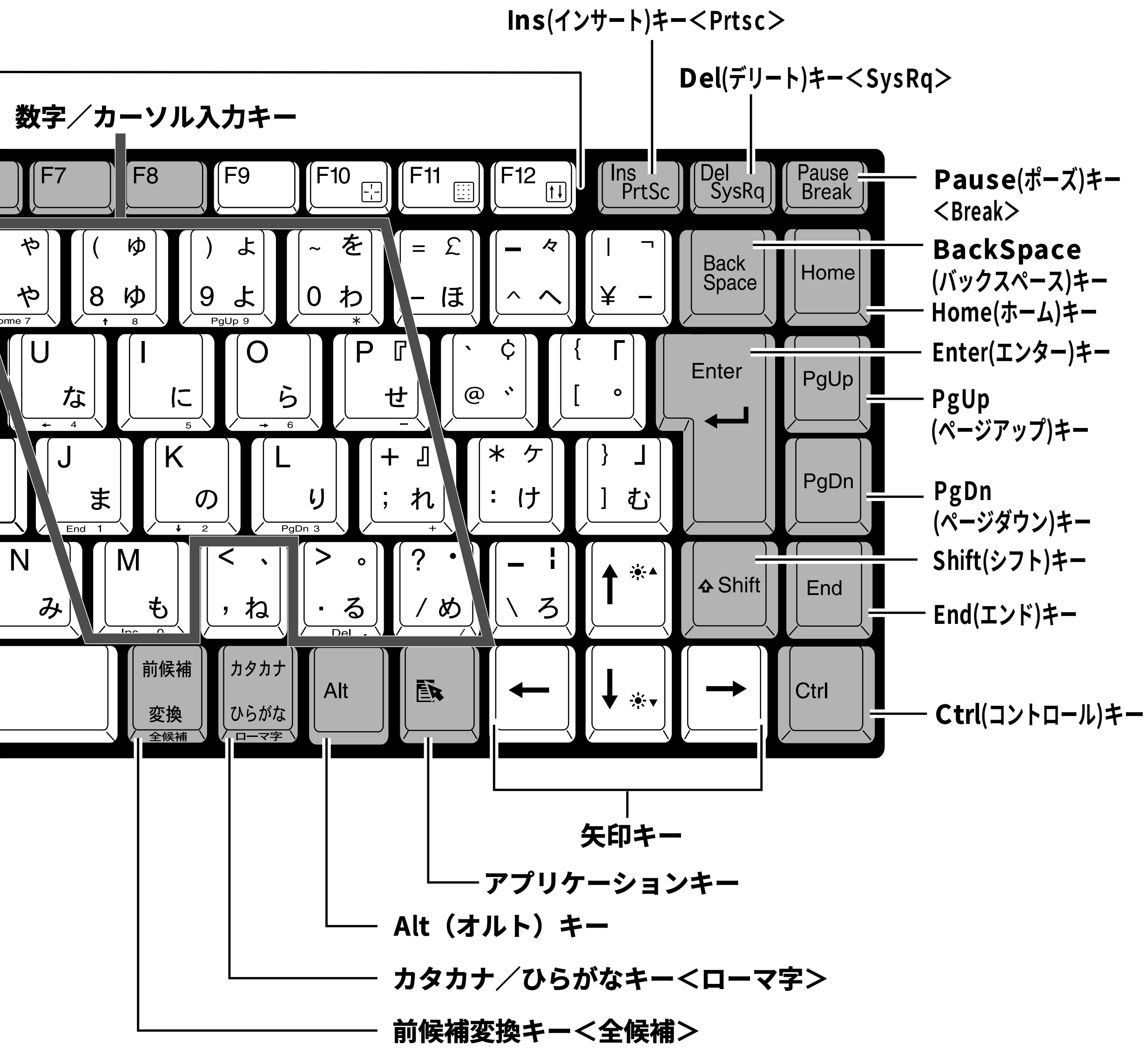
## 基本操作

| | |
|---|---|
| **クリック** | マウスでマウスポインタを合わせて、ボタンを1回押します。特に指定がない場合は左ボタンを使用します。 |
| **ダブルクリック** | マウスでマウスポインタを合わせて、ボタンを、すばやく2回続けて押します。特に指定がない場合は左ボタンを使用します。 |
| **ドラッグアンドドロップ** | マウスのボタンを押したまま、マウスポインタを移動します（ドラッグ）。特に指定がない場合は左ボタンを使用します。ドラッグの操作の最後に、目的の場所でボタンから指を離します（ドロップ）。 |

# 7 キーボード

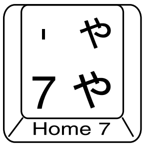
キーボードの使い方はソフトウェアによって違ってきますが、ここでは基本的な使い方と、それぞれのキーの意味や呼び方について簡単に説明します。




Ins(インサート)キー<Prtsc>
Del(デリート)キー<SysRq>
数字／カーソル入力キー
Pause(ポーズ)キー
<Break>
BackSpace
(バックスペース)キー
Home(ホーム)キー
Enter(エンター)キー
PgUp
(ページアップ)キー
PgDn
(ページダウン)キー
Shift(シフト)キー
End(エンド)キー
Ctrl(コントロール)キー
矢印キー
アプリケーションキー
Alt（オルト）キー
カタカナ／ひらがなキー<ローマ字>
前候補変換キー<全候補>

## 文字キー

文字や記号を入力するときに使うキーを文字キーと呼びます。
文字キーには 2 ～ 6 種類の文字や記号が印刷されています。どの文字や記号が入力されるかは制御キーとの組み合わせなどで異なります。
文字キーに印刷された文字や記号を入力する場合、どのように操作したらいいか、次の文字キーを例に説明します。




| 入力したい文字や記号 | 入力操作 | 内容 |
| --- | --- | --- |
| 左上の文字や記号 | Shift キーを押しながら押す | 記号やアルファベットの大文字が入力できます（この場合は「 '」）。<br>☞「本節 - 主なキーの呼び方と役割」 |
| 右上の文字や記号 | カナ入力状態で Shift キーを押しながら押す | 記号、カタカナの促音、拗音が入力できます（この場合は「ャ」）。<br>☞ カナ入力状態<br>➪「本節 - 入力に関する制御キー」 |
| 左下の文字や記号 | そのまま押す | 数字やアルファベットの小文字が入力できます（この場合は「7」）。 |
| 右下の文字や記号 | カナ入力状態で押す | カタカナや記号が入力できます（この場合は「ヤ」）。<br>☞ カナ入力状態<br>➪「本節 - 入力に関する制御キー」 |
| 前面左の文字や記号 | カーソルキー入力状態のときに押す<br>または<br>Fn + Shift キーを押しながら押す | カーソルキーとして使えます（この場合は Home キー）。<br>☞ カーソルキー入力機能<br>➪「本節 - 数字／カーソルキー入力機能」 |
| 前面右の文字や記号 | 数字入力状態のときに押す<br>または<br>Fn キーを押しながら押す | 数字や記号が入力できます（この場合は「7」）。<br>☞ 数字入力状態<br>➪「本節 - 数字／カーソルキー入力機能」 |

メモ

- ~（チルダ）を入力する場合は、Shift キー＋ ^ キーを入力してください。
  Shift キー＋ 0 キーを押しても入力できません。
- ＼（バックスラッシュ）を入力すると、「¥」と表示されます。

## 主なキーの呼び方と役割

| キー | 内容 |
|---|---|
| Esc（エスケープ） | 操作を取り消すときに使います。 |
| Shift（シフト） | アルファベットの英大文字、英小文字入力の一時的な切り替えや記号などを入力するときに使います。 |
| Alt（オルト）<br>Ctrl（コントロール） | ほかのキーと組み合わせて、特定の操作を実行するときなどに使います。 |
| （ウィン） | Windows のスタートメニューを表示するときに使います。また、他のキーと組み合わせて、ショートカットとして使うこともできます。 |
| Space（スペース） | 空白文字を入力するときや、入力した文字をかな漢字変換するときに使います。 |
| （アプリケーション） | マウスの右ボタンおよびパソコン本体の右ボタンをクリックすることと同様の動作を行いたいときに使います。 |
| Fn（エフエヌ） | 他のキーと組み合わせて特定の操作を実行するときに使います。 |
| Ins（インサート） | 文字の入力モードを挿入／上書きに切り替えるときに使います。 |
| Del（デリート） | 文字を削除するときなどに使います。 |
| BackSpace（バックスペース） | 文字を削除するときなどに使います。 |
| ← → ↑ ↓（矢印） | カーソル移動などに使います。 |
| Enter（エンター） | 作業を実行するときなどに使います。 |
| F1～F12（ファンクション） | 特定の操作を実行するときなどに使います。 |

上の表の各内容は、お使いの日本語入力システムやアプリケーションにより変わることがあります。

## 入力に関する制御キー

キー入力で、よく使う制御キーは次のものがあります。

| キー | 内容 | |
|---|---|---|
| Ctrl＋英数 | カナ入力<br>固定状態 | この状態で文字キーを押すと、キートップ右下に印刷されたひらがなを、カタカナで入力できます。 |
| Shift＋英数<br>（A） | 大文字入力<br>固定状態 | この状態で文字キーを押すと、キートップ左上に印刷された英字などの文字を、大文字で入力できます。 |

カナ入力固定や大文字入力固定状態を解除するには、もう一度同じキー操作をします。
入力固定状態の優先度は、カナ入力固定状態＞大文字入力固定状態です。

上の表の機能は、お使いになる日本語入力システムやアプリケーションにより変わることがあります。

## Fn キーを使った特殊機能キー

| キー | 内容 |
|---|---|
| Fn ＋ F1<br>《インスタントセキュリティ機能》 | 表示画面をオフにし、キーボードやタッチパッドから操作できないようにします。<br>解除するには、次のように操作します。<br>パスワードを設定している場合<br>：パスワードを入力し、Enter キーを押す<br>パスワードを設定していない場合<br>：Enter キーを押す<br>パスワードは、BIOS で User Password を設定してください。<br>☞「7 章 4 Security（セキュリティ）メニューの詳細」 |
| Fn ＋ F4<br>《アラーム音量の調整》 | アラーム音量を切り換えます。<br>**オフ→小→中→大** |
| Fn ＋ F5 | 表示装置を切り替えます。<br>Fn ＋ F5 キーを押すことにより、現在の表示から、次の順で表示が切り替わります。<br>**内部→同時→外部**<br>**内部：液晶ディスプレイ**<br>**同時：液晶ディスプレイと外部ディスプレイ**<br>**外部：外部ディスプレイ** |
| Fn ＋ F10 （ ）<br>（カーソルキー入力状態） | カーソルキーのオン／オフが切り替わります。 |
| Fn ＋ F11 （ ）<br>（数字入力状態） | 数字キーのオン／オフが切り替わります。 |
| Fn ＋ F12 （ 1 ）<br>（スクロール入力固定状態） | 画面スクロール入力固定状態になります。<br>一部のアプリケーションで ← → ↑ ↓ キーを使って（スクロール固定状態） 画面のスクロールができます。 |

メモ
・外付けキーボードをご使用のときは、Fn キーの機能は左 Ctrl ＋左 Alt キーで代用できます。

## Win(⊞) キーを使ったショートカットキー

⊞キーと他のキーとの組み合わせにより、次のようにショートカットとして使用できます。

| キー | 操作 |
|---|---|
| ⊞ + R | [ファイル名を指定して実行] ダイアログボックスを表示します。 |
| ⊞ + M | すべてをアイコン化します。 |
| Shift + ⊞ + M | すべてのアイコン化を元に戻します。 |
| ⊞ + F1 | Windows のヘルプを起動します。 |
| ⊞ + E | Windows エクスプローラを起動します。 |
| ⊞ + F | ファイルまたはフォルダを検索します。 |
| Ctrl + ⊞ + F | 他のコンピュータを検索します。 |
| ⊞ + Tab | タスクバーのボタンを順番に切り替えます。 |
| ⊞ + Break | [システムのプロパティ] ダイアログボックスを表示します。 |

## 特殊機能キー

複数キーの組み合わせで、特殊機能を実行することができます。

| 特殊機能 | キー | 内　容 |
|---|---|---|
| システムの再起動 | Ctrl + Alt + Del | プログラムの強制終了画面が表示されます。もう一度押すと、システムを再起動します。 |
| 画面コピー | PrtSc | 現在表示中の画面全体をクリップボードにコピーします。 |
| | Alt + PrtSc | 現在実行中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。 |



お願い

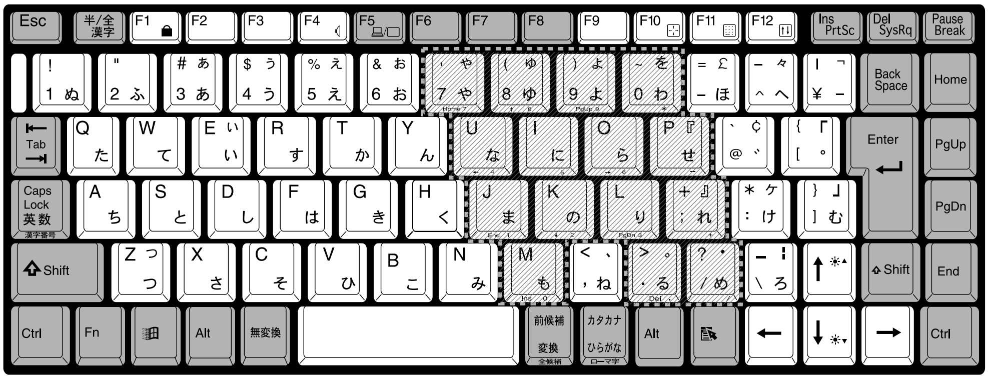
・システムが操作不能になったとき以外は Ctrl + Alt + Del キーは使用しないでください。データが消失するおそれがあります。

## 数字／カーソルキー入力機能

点線枠で示したキーを数字キーやカーソルキーとして使用できます。同時に 2 つの機能は使用できません。

数字キー入力機能では、キーの前面右に印刷されている数字や記号を入力できます。

カーソルキー入力機能では、キーの前面左に印刷されている数字や記号を入力できます。




### 数字キーとカーソルキーの割りあて

| キー | 数字キー機能 | カーソルキー機能 |
|---|---|---|
| 7 | 7 | Home |
| 8 | 8 | ↑ |
| 9 | 9 | PgUp（ページアップ） |
| 0 | ＊ | ＊ |
| U | 4 | ← |
| I | 5 | なし |
| O | 6 | → |
| P | − | − |
| J | 1 | End |
| K | 2 | ↓ |
| L | 3 | PgDn（ページダウン） |
| ＋ | ＋ | ＋ |
| M | 0 | Ins |
| ＞ | . | Del |
| ? | ／ | ／ |

### 数字／カーソルキー入力固定状態にする

点線枠で示したキーを常に数字キーやカーソルキーとして使用します。

#### カーソルキー入力機能を使う場合

Fn ＋ F11 キーを押し、 と表示されたら各キーを押す

#### 数字キー入力機能を使う場合

Fn ＋ F12 キーを押し、 と表示されたら、各キーを押す

### 一時的にカーソルキー入力固定状態にする

点線枠で示したキーを入力固定状態にせず、一時的にカーソルキーとして使用します。

#### カーソルキー入力機能を使う場合

Fn キーを押しながら各キーを押す

## 日本語入力システム

Microsoft 社製の日本語入力システム MS-IME をご使用になれます。

### 日本語入力システムの起動

漢字変換が行えるように日本語入力システム（MS-IME）を起動するには、次の方法があります。

- 


  ここをクリックし、メニューから「ひらがな」を選択する
- タスクバーの をクリックし、メニューから「ひらがな」を選択する
- Alt ＋ 半角／全角 キーを押す

漢字変換が行えるようになると、ツールバーは次のようになります。




### 入力モード

ローマ字入力が既定値になっています。かな入力などに設定を変更する場合は、ツールバーのプロパティアイコン をクリックし、［全般］タブで「ローマ字入力／かな入力」の設定を「かな入力」に変更してください。
ローマ字とかな入力の切り替えは、Ctrl ＋ CapsLock英数 キーでも可能です。

## 漢字変換

漢字変換するには、Space キーを押します。

Space キーを押すたびに、漢字の候補が表示されますので、目的の漢字が表示されたら Enter キーを押します。

☞ MS-IME の使い方 ➪『MS-IME のオンラインヘルプ』

メモ

- オンラインヘルプは次の手順で見ることができます。
  MS-IME の場合、ツールバーのヘルプアイコン をクリックし、メニューから［目次とキーワード］をクリックする
- 半角の［~］（チルダ）を入力するときは、Shift＋ー々 ^へ キーを押してください。
  Shift キー＋~を 0わ キーを押しても入力できません。
- キーボードに印刷されている「£」、「¢」、「々」などの文字は、直接入力できません。
  お使いの日本語入力システムの説明書を参照してください。

# 8 音量の調節

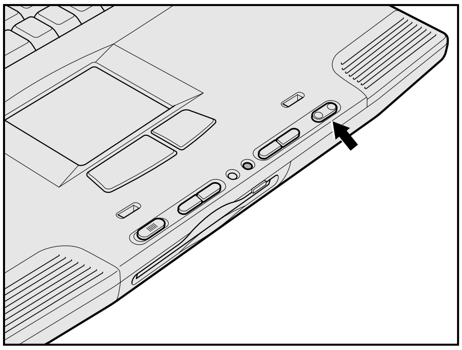
本製品にあらかじめインストールされている Windows には、標準で音声、サウンド関係のアプリケーションが付属しています。
サウンド機能は Microsoft Windows Sound System、および Sound Blaster Pro に適合しています。サウンドに関する設定については、あわせて『Windows のヘルプ』をご覧ください。



## 音量ボタンで調整する

本体前面の音量ボタンで音量を調整します。
音量を大きくしたいときには⊕ボタン、小さくしたいときには⊖ボタンを押します。

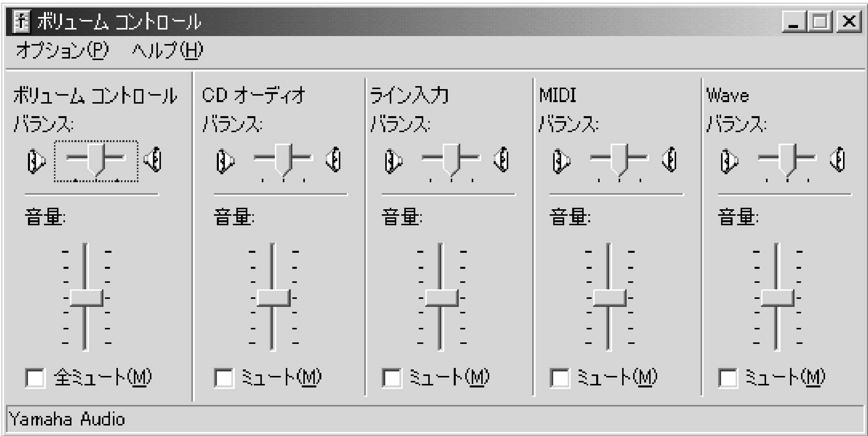
☞ 音量ボタン ➪「1章 1 各部の名称」



## ボリュームコントロールで調整する

**1 タスクバー上の［音量］アイコン（ ）をダブルクリックする**
**または、**
**［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［エンターテイメント］-［ボリュームコントロール］をクリックする**

ボリュームコントロールが起動します。




（表示例）

**2 それぞれのつまみを上下にドラッグして調整する**

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。［ミュート］をチェックすると消音となります。

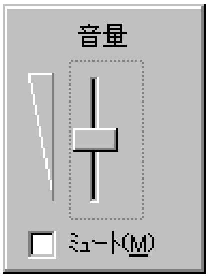
詳しくは、「ボリュームコントロール」のヘルプをご覧ください。

## [音量] アイコンから調整する

タスクバーの［音量］アイコン（ ）からスピーカの音量を調整することもできます。

**1 タスクバー上の［音量］アイコン（ ）をクリックする**

次の画面が表示されます。




**2 つまみを上下にドラッグして調整する**

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。

メモ

- ［ミュート］をチェックすると消音になります。
- 使用するアプリケーションによっては、外部マイクとスピーカでハウリングを起こし、高く大きな音が発生することがあります。この場合は、次のようにしてください。
  - 本製品の音量調節バーで音量を調整する
  - 使用しているアプリケーションソフトの設定を変える
  - 外部マイクをスピーカから離す

# 2

# 電源を入れて切るまで

**電源を入れてパソコンが、システムを組み込むまでを、**
**「パソコンの起動」といいます。**
**本章では、パソコンの起動と電源を切って終了する方法について説明します。**

# 1 電源を入れる

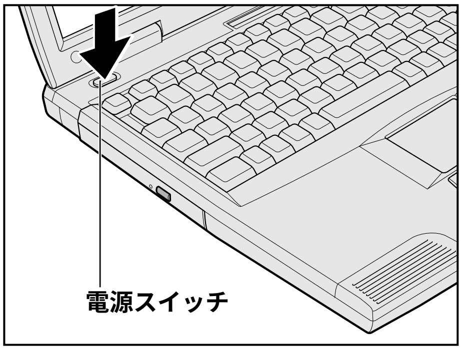
**注 意**　・パソコンの電源を長い間入れていると、パソコン本体の表面が熱を帯びます。長い間に渡って、素肌が直接触れないようにしてください。長い間触れていると、低温やけどになるおそれがあります。

**1 フロッピーディスク装置に何もセットされていないことを確認する**

**2 周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源を入れる**

**3 電源スイッチを押す**

ゆっくり押してください。
電源スイッチから指を離すと電源表示ランプ（ On ）が点灯し、電源が入ります。
パソコンの設定によっては、メッセージが表示されます。




スタンバイ機能または休止状態を実行していた場合は、電源を切る前の状態が再現されます。
スタンバイ機能または休止状態を実行しない場合には、Windows の起動画面が表示されます。

メモ

・スタンバイ機能／休止状態とは、次に電源スイッチを押したとき、終了した時点から作業が行える機能です。
スタンバイ機能は、パソコンの状態をメモリに保持し、休止状態はハードディスクに保持します。
☞ スタンバイ機能 ➪「6 章 6 消費電力を節約する」
☞ 休止状態 ➪「本章 3 電源を切る」、「6 章 6 消費電力を節約する」

・初めて電源を入れた場合は、［Windows セットアップの確認］の画面が表示されます。表示されるメッセージに従って、Windows のセットアップを行なってください。
☞ セットアップの方法 ➪「本章 2 初めて電源を入れるとき」

## パスワードが設定されている場合

パスワードを設定している場合は、電源を入れると次のメッセージが表示されます。

```
Enter Password          [          ]
```

設定したパスワードを入力し、Enter キーを押してください。

メモ

・パスワードの入力ミスを 3 回繰り返した場合は、以降の入力ができなくなります。その場合は電源を切って、システムを再起動してください。
☞ パスワードについて ➪「7 章 4 Security（セキュリティ）メニューの詳細」

# 2 初めて電源を入れるとき

## 1 Windows Meのセットアップ

次の手順に従ってセットアップを行なってください。
パソコン本体の電源を初めて入れるときは、Windowsが使えるようにするために、「Windowsセットアップ」という操作が必要です。
1度Windowsのセットアップをすれば、以降は、電源を入れるとすぐにWindowsを使用することができます。
「Windowsセットアップウィザード」に従って次のことを行います。

● Windowsパスワードの入力
ユーザ名とパスワードを登録します。
●タイムゾーンの選択
現在お使いの地域を選択します。
●マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書（Windowsのライセンス）
マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、［同意します］を選択しないと、Windowsを使用することはできません。

お願い

・「Windowsセットアップ」はACアダプタと電源コードを接続した状態で行なってください。PCカード、プリンタなどの周辺機器は取りはずしてください。
☞ 電源の接続方法について ➪「1章 2-2 電源に接続する」
「Windowsセットアップ」を行わないと、あらかじめインストールされているWindowsやアプリケーションを使用することはできません。
・「Windowsセットアップ」の動作中は、電源を切らないでください。
・お使いになるWindowsの管理番号を、「Product Key（プロダクトキー）」といいます。
Product Keyは、パソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。このラベルは絶対になくさないでください。再発行はできません。紛失した場合、Microsoft社からの保守が受けられなくなります。

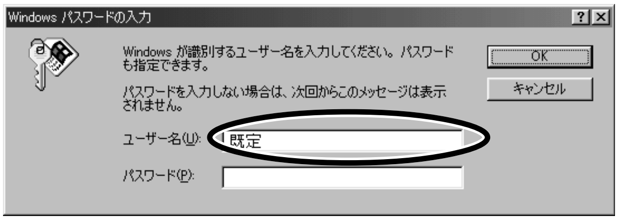
メモ

・「Windowsセットアップ」を行う前に、30分以上キーを押さない（タッチパッドの操作も含む）場合、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。画面に表示するには、タッチパッドを動かしてください。
・リカバリCDでシステムの復元を行なった場合にも、「Windowsセットアップ」の作業が必要です。

次の手順に従って、セットアップを行なってください。
初めて電源を入れると、[Windows パスワードの入力]画面が表示されます。

## 1 ユーザー名を入力する

Shift + Tab キーを押すと、カーソルがユーザー名に移動します。
Del キーを押して「既定」を削除します。
ユーザー名はひらがな、漢字、半角英数文字が使用できます。
ひらがなや漢字を入力するには、MS-IME を起動します。MS-IME とは、かなや漢字を入力するための日本語入力システムです。
Alt キーを押したまま、半／全 キーを押してください。




メモ

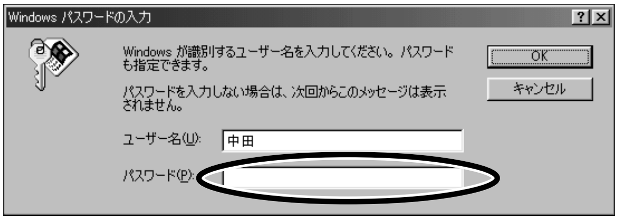
・ひらがなや漢字の入力のしかた
　標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。
　例 :“ なかた ” または “ 中田 ” と入力する場合

**1 N A K A T A とキーを押す**
“ なかた ”と表示されます。入力ミスをした場合は、BackSpace キーを押して入力ミスした文字を削除します。

**2 ひらがなのままでよい場合は、Enter キーを押す**
“ なかた ” で確定されます。
**漢字に変換する場合は Space キーを押し、目的の漢字が表示されたら、Enter キーを押す**
Space キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。Enter キーを押すと、選択した漢字で確定します。

## 2 パスワードを入力する

ユーザー名の入力が終わった後、Tab キーを押します。
パスワードには次の文字（半角英数文字）が使用できます。4 〜 8 文字を目安に設定してください。ひらがなや漢字は入力できません。




| | | |
|---|---|---|
| **使用できる文字** | アルファベット（半角） | A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z |
| | 数字（半角） | 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 |
| | 記号（単独のキーで入力できる文字の一部） | − ^ @ [ ] ; : , . / （スペース） |
| **使用できない文字** | ・全角文字（2バイト文字）<br>・日本語入力システムの起動が必要な文字<br>【例】漢字、カタカナ、ひらがな、日本語入力システムが供給する記号 など<br>・単独のキーで入力できない（入力するときに Shift キーなどを使用する）文字<br>【例】｜（バーチカルライン）、&（アンド）、~（チルダ）など<br>・¥（エン）<br>キーや キーを押すと¥が入力されます。 | |

入力したパスワードは「＊＊＊＊」で表示されます。パスワードは間違いのないように入力してください。入力ミスをした場合は、BackSpace キーを押して入力ミスした文字を削除します。パスワードの入力が終わったら、［OK］ボタンをクリックします。
［Windows パスワードの設定］画面が表示されます。

## 3 登録したパスワードをもう一度入力し、［OK］ボタンをクリックする




入力したパスワードが間違っている場合は、メッセージが表示されますので、［OK］ボタンをクリックしてメッセージを消した後、パスワードをもう一度入力し直してください。

メモ

・登録したパスワードを正しく入力できない場合

**1** Del キーで［新しいパスワードの確認入力］のパスワードをすべて削除する
**2** Shift キーと Tab キーを同時に押す
カーソルが［新しいパスワード］に戻ります。
**3** Del キーを押して、いったんパスワードをすべて削除する
**4** 新しいパスワードを入力する
**5** Tab キーを押す
**6** ［新しいパスワードの確認入力］に同じパスワードを入力する
**7** ［OK］ボタンをクリックする

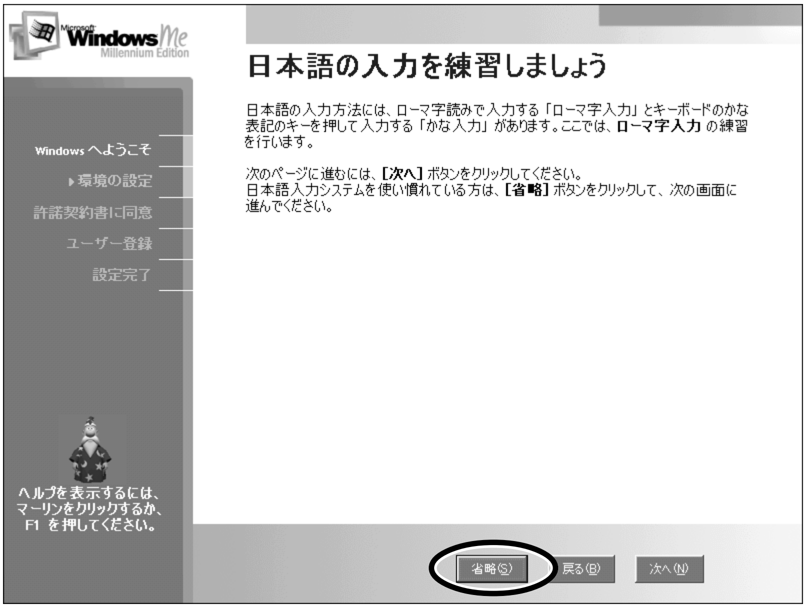
［Microsoft Windows へようこそ］画面が表示されます。
マーリンの自己紹介が始まります。マーリンは、操作が途中でわからなくなったときに助けてくれるキャラクタです。
操作が途中でわからなくなったときは、マーリンをクリックするか、F1 キーを押してください。メニューが表示されます。
ご覧になりたい項目をクリックすると説明が始まります。

## 4 [次へ] ボタンをクリックする



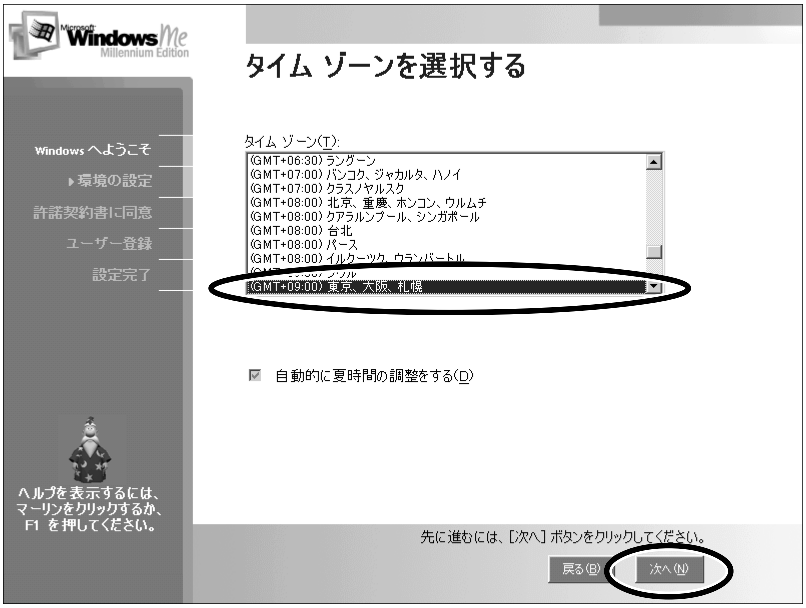

[日本語の入力を練習しましょう] 画面が表示されます。

## 5 [省略] ボタンをクリックする




日本語入力の練習を行なう場合は [次へ] ボタンをクリックして次の画面に進んでください。
[省略] ボタンをクリックした場合は、[タイムゾーンを選択する] 画面が表示されます。

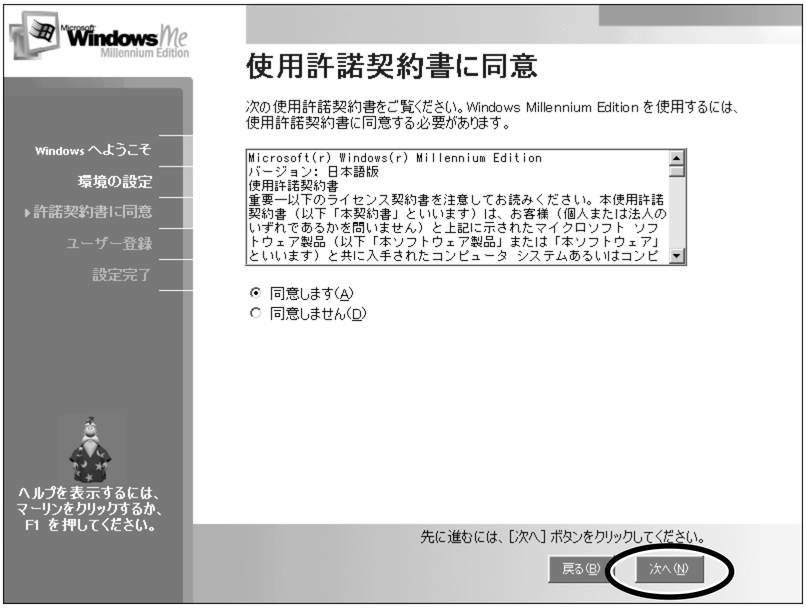
## 6 ［タイムゾーン］で［(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌］が選択されていることを確認して、［次へ］ボタンをクリックする




［(GMT+9:00) 東京、大阪、札幌］が選択されていない場合は、▼ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

［使用許諾契約書に同意］画面が表示されます。

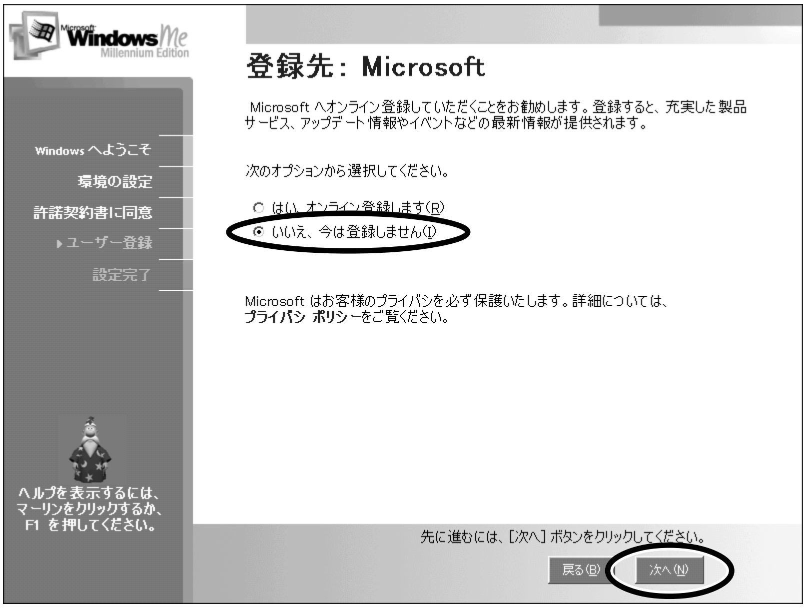
## 7 画面の［同意します］をチェック（左側の○印をクリック）して、［次へ］ボタンをクリックする




契約内容を、必ずお読みください。表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックするか、PgUp キー、PgDn キーを使って画面を動かしてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。

［登録先：Microsoft］画面が表示されます。

## 8 画面の［いいえ、今は登録しません］をチェック（左側の○印をクリック）して、［次へ］ボタンをクリックする




オンライン登録には、インターネット（モデム）への接続が必要です。ここではインターネットへの接続は行いません。インターネットへの接続とオンライン登録は、セットアップ後に行えます。

［設定が完了しました］画面が表示されます。

## 9 ［完了］ボタンをクリックする




Windows のセットアップが終了します。

### Windows の使い方

Windows の使い方については、同梱されている『Windows Me クイックスタートガイド』をご覧ください。

## ユーザ登録をする

東芝へのユーザ登録および Microsoft 社へのユーザ登録は必ず行なってください。登録はそれぞれ行う必要があります。登録を行わないと、今後のサポートを受けられない場合があります。いずれもインターネットで登録する場合は、モジュラーケーブルの接続が必要です。

☞ モジュラーケーブルの接続 ➪「4 章 6 電話回線への接続」

### 東芝へのユーザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。インターネットをご利用になるには、プロバイダとの契約が必要です。

#### 初めて、インターネットをご利用になる場合

［スタート］-［プログラム］-［東芝 PC お客様登録］-［東芝 PC お客様登録］をクリックし、［東芝 PC お客様登録］画面で表示される画面に従って設定を行なってください。本製品をお使いの状況に従って、次の 3 つから選択してください。

- ［インターネットプロバイダと未契約の方］：インターネットプロバイダ「infoPepper」に入会することになります。接続した時間などに応じて、料金がかかりますので、あらかじめご了承ください。
- ［インターネットプロバイダと契約済みの方、もしくは LAN 経由でインターネット接続されている方］：インターネットに接続してユーザ登録できます。
- ［インターネット経由で登録を希望しない方］：はがきでユーザ登録するメッセージが表示されます。

#### すでに他のプロバイダに入会している場合

インターネットに接続するための設定を行なったあと、次のアドレスを入力し、表示された画面から登録を行なってください。

**http://www5.toshiba.co.jp/tpmc/nkhh.htm**

### Microsoft 社へのユーザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。

#### インターネットで登録する場合

① **［スタート］-［ヘルプ］をクリックする**
［ヘルプとサポート］画面が表示されます。
② **［Windows Millennium Edition を使う］をクリックする**
③ **［アプリケーションの登録］をクリックする**
④ **［Windows オンラインに登録する］をクリックする**
⑤ **右画面の［ここをクリック］をクリックする**
ウィザードが起動します。
⑥ **表示される画面に従って登録を行う**

# 2 イージーボタンとタッチパッドを使うために

Windows のセットアップ終了後、イージーボタンとタッチパッドのユーティリティをインストールしてください。



## イージーボタンの設定

**1 ［スタート］-［プログラム］-［EasyButton］-［Setup］をクリックする**

インストール開始画面が表示されます。

**2 ［OK］ボタンをクリックする**

インストールが始まります。
インストールされると、タスクバーに［EasyButton］アイコン（）が表示されます。

インターネットボタンとメールボタンには、あらかじめ起動するアプリケーションが設定されています。

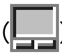
☞「5章 2-5 インターネットに接続する」、「5章 4-3 メールボタンを使う」

ユーザ1／ユーザ2ボタンを使うときは、起動するアプリケーションやファイルを登録してください。また、［EasyButton］アイコン（）をダブルクリックすると、各ボタンの設定を変更できます。

☞「6章 2 イージーボタンを設定する」

## タッチパッドの設定

**1 ［スタート］-［プログラム］-［タッチパッド］-［セットアップ］をクリックする**

インストールが始まります。
インストールされると、タスクバーにタッチパッドのアイコン（）が表示されます。
ダブルクリックすると、設定を変更できます。

☞「6章 5 タッチパッドを便利に使う」

# 3 電源を切る

パソコン本体の電源を切るには、Windows を終了する方法と休止状態を実行する方法があります。
休止状態を実行すると、次に電源スイッチを押したときに、電源を切ったときの状態からパソコン本体を使い始めることができます。

☞ 休止状態 ➪「6 章 6 消費電力を節約する」

**注 意**

- **CD/ ハードディスクマーク やフロッピーディスクマーク 表示中は、電源を切ったり、フロッピーディスク装置の取り出しボタンや CD-ROM 装置／ CD-RW 装置／ DVD-R0M 装置の取り出しボタンを押したりしないでください。データが消失するおそれや、フロッピーディスク装置、CD-ROM 装置／ CD-RW 装置／ DVD-R0M 装置が壊れるおそれがあります。**
- **パソコン本体や周辺機器の電源は、切った後すぐには入れないでください。**

お願い

- 周辺機器の電源は、パソコンの電源を切った後に切ってください。
- 休止状態が実行されている間は、メモリ内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。その間、CD/ ハードディスクマーク が表示されます。マーク表示中は、バッテリパックをはずしたり、AC アダプタを抜いたりしないでください。
- 休止状態を実行しない場合は、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。データが消失するおそれがあります。

## 方法 1 ─［スタート］メニューから Windows を終了する

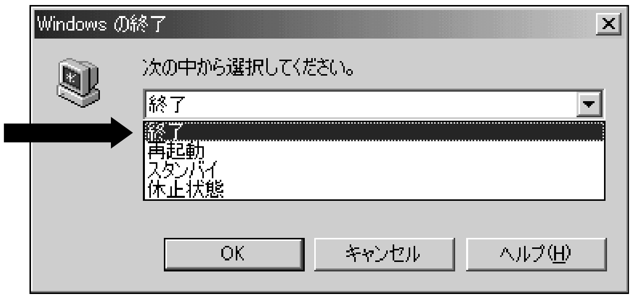
**1 データを保存し、アプリケーションを終了する**

**2［スタート］①-［Windows の終了］②を選択する**




（表示例）

**3［終了］を選択し、［OK］ボタンをクリックする**

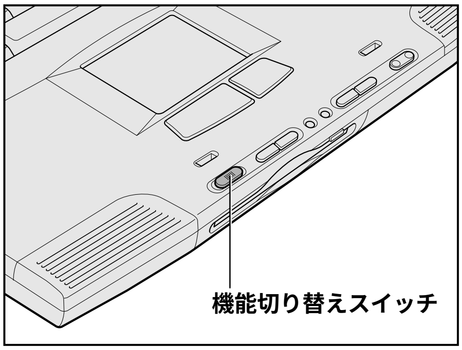



メモ

- この方法で電源を切ると休止状態は実行されません。

**4 機能切り替えスイッチをロック状態（中央）にする**

機能切り替えスイッチをアプリケーションモード（左）または音楽 CD モード（右）にしていると、バッテリを早く消耗します。パソコン本体の電源を切っているときは、ロック状態に設定してください。




## 方法 2 ー電源スイッチを押す

**1 電源スイッチを押したときの動作を設定する**

ご購入時は「電源オフ」に設定されています。
「休止状態」に変更する場合は次のように設定してください。

**① ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］をクリックする**

**② ［電源の管理］をダブルクリックする**

このアイコンが表示されていない場合は、画面左の［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

**③ ［休止状態］タブの［休止状態をサポートする］がチェックされていることを確認する**

**④ ［詳細設定］タブの［コンピュータの電源ボタンを押したとき］で［休止状態］を選択する**

**⑤ ［OK］ボタンをクリックする**

**2 電源スイッチを押す**

## 方法 3 ーディスプレイを閉じる

**1 ディスプレイを閉じたときの動作を設定する**

ご購入時は「なし」（通常の状態のまま）に設定されています。
「電源オフ」や「休止状態」に変更する場合は次のように設定してください。

**① ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］をクリックする**

**② ［電源の管理］をダブルクリックする**

このアイコンが表示されていない場合は、画面左の［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

**③ 休止状態にする場合は、［休止状態］タブの［休止状態をサポートする］がチェックされていることを確認する**

**④ ［詳細設定］タブの［ポータブルコンピュータを閉じたとき］で［電源オフ］または［休止状態］を選択する**

**⑤ ［OK］ボタンをクリックする**

**2 ディスプレイを閉じる**